

9 成人保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。

鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。

(1) 健康診査事業

(令和4年度予算額 186,889千円)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内4医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内7医療機関で実施

(うち、乳房エックス線検査は6医療機関で実施します。)

- ・がん検診（人間ドック 胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん）市内4医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内4医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施

個 別……………市内43医療機関で実施

人間ドック……………市内4医療機関で実施

○委託料（税込）

(単位：円)

検 診 項 目		4 年 度	検 診 項 目		4 年 度	
胃がん検診	集団	5,500	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,178	
大腸がん検診	集団	1,921	肺炎ウイルス検査	集団	3,300	
子宮がん検診	集団	4,400	歯周疾患検診	集団・個別	5,320	
	個別	6,992		がん検診 (人間ドック)	男	14,065
乳がん検診	集団	1方向	4,367		女(子宮)	17,661
		2方向	6,551		女(子宮、乳(1方向))	21,215
	個別	1方向	5,090		女(子宮、乳(2方向))	22,315
		2方向	6,190	特定健康診査	集団	8,382
肺がん検診	集団	読影	1,338		個別・人間ドック	10,076
		喀痰検査	2,970			
	ドック	喀痰検査	2,963			

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金

(単位:円)

検診項目		4年度	検診項目		4年度	
胃がん検診	69歳以下	1,100	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肝炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん検診 (人間ドック)	男	6,300	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,520	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,740	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	69歳以下	特定健康診査	64歳以下	1,500	
		70歳以上		無料	65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	69歳以下		600	65歳以上(人間ドック)	1,500
		70歳以上		200		

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

① 健康診査(基本健康診査に準ずる健診)

- ・健診の内容：問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、身体診察、血圧測定、
検尿(糖・蛋白)、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)、
脂質検査(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)、
肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方
(令和3年度実績)

		生活保護	その他	計
受診者数(人)	集団	117	0	117
	個別	8	0	8
	ドック	5	0	5
	計	130	0	130
階層区分(人)	積極的	17	0	17
	動機づけ	13	0	13
	計	30	0	30

② 胃がん検診

- ・ 検診の内容：問診、胃部エックス線検査、胃内視鏡検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数 (人)		47,249	47,867	45,668
受診者数 (人)	集 団	3,437	3,040	3,153
	ドック	11,573	10,108	10,398
	計	15,010	13,148	13,551
受診率	(%)	31.8	27.5	29.7
要精検者数	(人)	5,398	4,097	4,442
要精検率	(%)	36.0	31.2	32.8
精検受診者数	(人)	5,288	4,013	4,304
精検受診率	(%)	98.0	97.9	96.9
がんであった人	(人)	49	40	46

※精密検査の状況は、令和3年度については令和4年5月現在の数値。令和元・2年度については翌年度末までに報告のあったもの。

③ 大腸がん検診

- ・ 検診の内容：問診、便潜血検査（2日法）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数 (人)		50,221	50,773	48,632
受診者数 (人)	集 団	6,497	6,030	6,303
	ドック	13,094	11,799	12,108
	計	19,591	17,829	18,411
受診率	(%)	39.0	35.1	37.9
要精検者数	(人)	1,448	1,336	1,240
要精検率	(%)	7.4	7.5	6.7
精検受診者数	(人)	1,159	1,061	825
精検受診率	(%)	80.0	79.4	66.5
がんであった人	(人)	43	40	31

※精密検査の状況は、令和3年度については令和4年5月現在の数値。令和元・2年度については翌年度末までに報告のあったもの。

④ 子宮がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、頸部細胞診
- ・ 検診対象者：20歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数 (人)		39,108	39,069	37,493
受診者数 (人)	集団	151	166	173
	個別	4,154	3,956	4,041
	ドック	5,047	4,465	4,531
	計	9,352	8,587	8,745
2年連続受診者数 (人)		6,625	6,045	5,948
受診率 (%)		31.4	30.4	30.4
要精検者数 (人)		123	105	75
要精検率 (%)		1.3	1.2	0.9
精検受診者数 (人)		113	95	60
精検受診率 (%)		91.9	90.5	80.0
がんであった人 (人)		6	3	3

※受診率 = (「前年度の受診者数」 + 「当該年度の受診者数」 - 「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」) ÷ 当該年度の対象者数 × 100 (国、県の算出方法)

※精密検査の状況は、令和3年度については令和4年5月現在の数値。令和元・2年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑤ 乳がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の偶数年齢の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数 (人)		39,948	39,815	39,033
受診者数 (人)	集団	142	166	162
	個別	1,361	1,180	1,266
	ドック	2,785	2,672	2,517
	計	4,288	4,018	3,945
2年連続受診者数 (人)		0	0	0
受診率 (%)		22.4	20.9	20.4
要精検者数 (人)		323	239	218
要精検率 (%)		7.5	5.9	5.5
精検受診者数 (人)		308	225	195
精検受診率 (%)		95.4	94.1	89.4
がんであった人 (人)		12	6	9

※受診率 = (「前年度の受診者数」 + 「当該年度の受診者数」 - 「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」) ÷ 当該年度の対象者数 × 100 (国、県の算出方法)

※精密検査の状況は、令和3年度については令和4年5月現在の数値。令和元・2年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・ 検診の内容：問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数（人）		50,873	51,431	49,287
受診者数 （人）	集 団	7,746	7,011	7,328
	ドック	13,053	11,757	12,069
	計	20,799	18,768	19,397
	かく痰検査	426	332	355
受診率（%）		40.9	36.5	39.4
肺がん に対する精査	要精検者数（人）	436	390	378
	要精検率（%）	2.1	2.1	1.9
	精検受診者数（人）	386	340	314
	精検受診率（%）	88.5	87.2	83.1
肺がん以外 の疾患に に対する精査	要精検者数（人）	405	184	197
	要精検率（%）	1.9	1.0	1.0
	精検受診者数（人）	159	133	129
	精検受診率（%）	39.3	72.3	65.5
がんであった人（人）		14	10	7
結核であった人（人）		0	1	0

※精密検査の状況は、令和3年度については令和4年5月現在の数値。令和元・2年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※がんであった人には、喀痰検査及び結核要精検でがんであった（ ）内の人数を含む。

⑦ 骨粗しょう症検診

- ・ 検診の内容：問診、骨塩定量検査
- ・ 検診対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
受診者数 （人）	集 団	66	81	91
	ドック	774	680	671
	計	840	761	762
要指導者数（人）		175	131	132
要精検者数（人）		211	196	186
要精検率（%）		25.1	25.8	24.4

⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・ 検診の内容：問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・ 検診対象者：当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で、過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方
(令和3年度実績)

	40歳総合検診(人)	集団検診(人)	計(人)
受診者	142	280	422
C型肝炎感染疑い	0	1	1
B型肝炎陽性	0	2	2

⑨ 歯周疾患検診

- ・ 検診の内容：問診、歯周組織検査
- ・ 検診対象者：40・50・60・70歳の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
対象者数(人)		7,014	6,824	6,791
受診者数 (人)	集団	106	113	131
	個別	200	188	176
	計	306	301	307
受診率	(%)	4.4	4.4	4.5
要精検者数	(人)	206	179	194
要精検率	(%)	67.3	59.5	63.1

⑩ 人間ドック

- ・ 健診の内容：特定健診、がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)、その他検査
- ・ 健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		元年度	2年度	3年度
1日	男	5,932	5,509	5,570
	女	6,821	6,199	6,319
	計	12,753	11,708	11,889
1泊	男	389	193	310
	女	114	51	79
	計	503	244	389
合計		13,256	11,952	12,278

⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	元年度	2年度	3年度
対象世帯数	45,725	45,881	45,497
提出世帯数	14,472	14,987	13,512
提出率(%)	31.7	32.7	29.7

※提出世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、提出人数は掲載しない。なお提出は、人間ドック希望者及び登録情報に変更がある場合のみ。

(2) 成年期の健康診査事業

(令和4年度予算額 3,675千円)

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

① さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診 6回、メンズ健診 3回 未受診者健診 5回
- ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）
- ・健診時に全員に保健指導を実施
- ・レディース健診では一時保育を実施（一時保育利用 22人）

		元年度		2年度		3年度	
		レディース	メンズ	レディース	メンズ	レディース	メンズ
受診者数(人)		371	214	337	216	333	184
判定区分 (人)	要指導	166	79	135	65	123	60
	要医療(要精検)	94	104	82	113	97	91
	治療中	10	11	12	5	11	5
要指導・要医療(要精検)率(%)		70.1	85.5	64.4	82.4	66.0	82.1

(3) 後期高齢者医療保険健康診査事業

(令和4年度予算額 91,120千円)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）

(実績：令和3年度は翌年4月受付分まで、令和元・2年度は実績値)

		元年度	2年度	3年度
対象者数(人)		22,187	22,086	22,236
受診者数 (人)	集団	2,313	2,176	2,260
	個別	2,668	2,810	2,113
	ドック	3,228	2,605	2,751
	計	8,209	7,591	7,124
受診率(%)		37.0	34.37	32.0

(4) 特定健康診査・特定保健指導事業 (令和4年度予算額 1,145,654千円)

※国保年金課国保医療係・健康課成人保健係

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着目した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：年度中に40歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方）

(実績：令和3年度は翌年4月受付分まで、令和元・2年度は法定報告値)

		元年度	2年度	3年度
対象者数(人)		20,050	19,901	19,688
受診者数 (人)	集団	3,065	2,832	2,971
	個別	118	179	120
	ドック	7,173	6,659	6,768
	計	10,356	9,670	9,859
受診率(%)		51.7	48.6	50.1
特定保健 指導対象 者数(人) *詳細	積極的	289	259	262
	動機づけ	812	742	731
	計	1,101	1,001	993

* 特定保健指導詳細

指導状況：① 荘内病院人間ドックは市直営実施。

② 特定健診委託機関のうち3機関（健康管理センター・協立病院・みやはらクリニック）にて実施。

実施内容：180ポイントの個別支援のプログラムにて実施（初回面接、継続支援〈個別面接・電話支援・支援レター〉、3ヵ月後評価

実施状況

	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
3年度	262	76	29.0%	731	278	38.0%	993	354	35.6%
現在実施中の者		17	6.5%		54	7.4%		71	7.2%
2年度	259	50	19.3%	742	345	46.5%	1,001	395	39.5%
元年度	289	62	21.5%	812	405	49.9%	1,101	467	42.4%

令和3年度の実施状況は令和4年4月受付分までの数値

※令和元・2年度の実施状況は法定報告値（毎年度10月に確定）

(5) 健康教育・健康相談事業

(令和4年度予算額 1,786千円)

① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

- ・内容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。
- ・対象者：40歳以上の市民及びその家族

		元年度	2年度	3年度
歯周疾患	活動回数(回)	23	3	8
	人数(人)	539	33	166
ロコモティブ シンドローム*	活動回数(回)	165	70	69
	人数(人)	3,908	1,229	1,357
病態別	活動回数(回)	73	33	14
	人数(人)	1,531	1,002	347
薬	活動回数(回)	0	3	0
	人数(人)	0	122	0
一般	活動回数(回)	504	251	166
	人数(人)	11,092	5,190	2,445

*運動器症候群

② 健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

- ・ 内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。
- ・ 対象者：40歳以上の市民及びその家族

		元年度	2年度	3年度
重点健康相談	活動回数(回)	330	553	308
	人 数(人)	639	938	386
総合健康相談	活動回数(回)	1,853	796	440
	人 数(人)	13,606	12,280	6,506
計	活動回数(回)	2,183	1,349	748
	人 数(人)	14,245	13,218	6,892

③ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

(1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

- ・ 対 象：40歳～70歳で以下の条件に1つ以上該当する方
 - ① BMIが24.0～30.9の方
 - ② 腹囲が基準値以上（男性85cm・女性90cm以上）の方
- ・ 実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を2週1回(合計8回)12週間行う個別健康支援プログラム（2コース：夜コース・午前コース）

(令和3年度実績)

	夜コース	午前コース
開催場所	総合保健福祉センターにこ♥ふる	
開催期間	6月8日～8月27日	9月8日～12月2日
受講人数	23人	【新型コロナの影響により、令和3年度は午前コース中止】
修了人数	17人(73.9%)	

(2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① 情報誌の企画・作成（年1回発行）
- ② 健康づくりサポーターのつどいの企画・運営

④ 若年期への保健指導

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやか健診時保健指導

- ・対象：さわやか健診を受診した者
- ・内容：スマートイート（かしこい食べ方）の紹介、個人相談

○3か月後保健指導及び糖尿病・腎機能低下精密検査受診勧奨（令和3年度実績）

- ・対象：さわやか健診を受診した男性肥満者（腹囲85cm以上またはBMI25以上の者）64人、糖尿病精密検査対象の男女12人及び腎機能低下受診勧奨対象者2人
- ・内容：電話による保健指導、糖尿病及び腎機能低下精密検査受診勧奨

(6) 糖尿病予防対策事業（令和4年度予算額4,460千円（国保4,460千円））

増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導やハイリスク者に対しセミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

① 糖尿病予防対策事業（回報書の活用）

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者：40～74歳の国保加入者（途中加入、生保者を含む）で、特定健診を受診した方（一泊ドックを除く）
 - ・精検対象者：空腹時血糖110mg/dl以上又はヘモグロビンA1c（NGSP値）6.0%以上
- ※定期受診や治療中を除く。

（血糖検査・精密検査受診状況）

年次推移		血糖検査 受診者数	精検 対象者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)
元年度	40～69歳	6,818	872	13.2	692	79.4
2年度	40～69歳	5,994	727	12.7	589	81.0
3年度	40～69歳	6,011	823	13.7	445	54.1
	70～74歳	4,231	723	17.1	380	52.6

※令和3年度精検結果：令和4年5月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。

令和元年度、令和2年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

※令和3年度より、対象年齢を40～74歳へと拡大。

（精密検査受診結果内容）

2年度	正常	境界型	糖尿病型	記載なし	回報書の 返信なし	他疾患	計
人数（人）	164	188	123	21	93	0	589
割合（%）	27.8	31.9	20.9	3.6	15.8	0	100.0

※精検結果は、翌年度末までに回報書が返信されたものでまとめるため、令和2年度分を掲載。

② 糖尿病重症化予防訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて、当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し精密検査回報書が発行されたもので、受診3か月後に回報書の返信がないもの

- ・年 齢：40歳～74歳
- ・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c (NGSP 値) 6.0% 以上 (定期受診を含む、治療中を除く)

	対象年齢	回報書発行者	3か月後 回報書 返信あり	訪問指導 対象者	受診勧奨結果		受診勧奨 (延数)			
					受診あり	未受診	訪問 面接	電話	その 他 通知 等	
2年度	40～69 歳	人数	727	277	450	257	193	27	290	184
		率(%)	100.0	38.6	61.4	57.1	42.9			
3年度	40～69 歳	人数	823	301	522	183	339	80	90	233
		率(%)	100.0	36.6	63.4	35.1	64.9			
	70～74 歳	人数	723	259	464	121	343	70	3	61
		率(%)	100.0	35.8	64.2	26.1	73.9			

※受診勧奨結果は令和4年5月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

※令和3年度より、対象年齢を40～74歳へと拡大。

③ 糖尿病健康相談・糖尿病予防セミナー

高血糖者及び医療通院者に対し、食事・運動を主体とした体験型セミナーを、対象者の感染症重症化リスクを考慮して、個別健康相談として実施し糖尿病の発症や重症化を予防します。

○対象者：前年度の特定健診血糖検査結果で回報書が発行された75歳未満の者
(精検結果異常なしは除く)。

○内 容：①管理栄養士による保健指導。(面談は、一人あたり概ね2回実施)
摂取カロリーに応じた食事量の目安、食べ方など改善状況を確認しながら個々に応じて指導を行う。

②3か月後支援レター(評価)を送付する。

○開催場所：総合保健福祉センター にこ♥ふる 相談室
(令和3年度実績)

(実施状況)	参加者数		2回参加率
	実	延	
糖尿病健康相談	43人	75人	87.2%

(7) 訪問指導事業 (令和4年度予算額 441千円) ※健康課成人保健係

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。(単位：人)

		元年度		2年度		3年度	
		訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数
要指導者	40～64歳	138	172	18	19	67	70
	65歳以上	104	114	24	26	90	99
	計	242	286	42	45	157	169
閉じこもり予防	40～64歳	0	0	2	2	2	2
	65歳以上	4	5	5	5	0	0
	計	4	5	7	7	0	0
介護家族者	40～64歳	0	0	1	1	0	0
	65歳以上	3	3	11	14	4	4
	計	3	3	12	15	4	4
寝たきり者	40～64歳	0	0	0	0	0	0
	65歳以上	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者	40～64歳	0	0	0	0	0	0
	65歳以上	8	11	7	13	6	12
	計	8	11	7	13	6	12
その他	40～64歳	29	41	20	29	27	31
	65歳以上	103	148	29	34	31	36
	計	132	189	49	63	58	67
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0
計	40～64歳	167	213	41	51	96	103
	65歳以上	222	281	76	92	131	151
合計		389	494	117	143	227	254

(8) がん検診受診率向上対策事業 (令和4年度予算額 6,948千円)

死亡原因第1位のがんから市民を守るため、特に40～50歳代の働き盛りの受診環境の整備を図り、早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診率向上を図るものです。

○受診環境の整備

- ①40歳総合健診 ②日曜日がん検診 ③障害者通所施設健診 ④土曜日検診

① 40歳総合健診

健診元年にあたる、40歳を迎える市民を対象に総合的な健康診査を行うことで、健康管理の大切さの自覚を高め、働き盛りの年代の早世を予防するものです。就労時間を考慮し早朝に実施します。

- ・健診項目：特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査
- ・総合健診受診者（令和3年度実績）

対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
1,383	143	10.3

- ・各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査（40歳のみ）（令和3年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	骨粗鬆 症検診	歯周疾 患検診	肝炎 ウイルス 検査
受診者数(人)	137	130	130	83	88	91	131	142
要精検者(人)	1	2	5	1	6	0	77	0
要精検率(%)	0.7	1.5	3.8	1.2	6.8	0	58.7	0

② 日曜日がん検診

平日、仕事等で都合がつかずがん検診を受診できない、主に働き盛りの年代に焦点をあて、日曜日にがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和3年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診	子宮がん 検診
受診者数(人)	147	182	200	86	90
要精検者(人)	4	6	6	7	1
要精検率(%)	2.7	3.3	3.0	8.1	1.1

③ 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に障害者に配慮した健診体制を整備し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和3年度実績）

	肺がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	246	107	6
要精検者(人)	8	9	1
要精検率(%)	3.3	8.4	16.7

④ 土曜日検診

全国健康保険協会（協会けんぽ）等の被扶養者を対象に、特定健診未受診者健診の場
を利用し、併せて市のがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和3年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	134	0	112	0	0
要精検者(人)	6	0	10	0	0
要精検(%)	4.5	0	8.9	0	0

○啓発事業

① がん検診受診向上対策キャンペーン

広く市民への受診啓発を図り、地域全体のがん検診受診向上をより一層推進するものです。

<庄内南部・庄内北部定住自立圏での合同実施(鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・遊佐町)>

日 時：令和3年10月2日(土)

場 所：イオンモール三川

内 容：受診啓発グッズの配布、がん検診に関するクイズ、ポスター・パネル展示

※庄内保健所主催「いきいき健康フェア2021」と

山形県主催「がん総合相談出張相談」との合同開催

参加者数 760人

<市単独実施>

日 時：令和3年10月1日(金)～10月29日(金)

場 所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこふる」

内 容：健康づくり強調月間事業に併せてポスター展示やのぼり旗による啓発

(9) がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費助成事業

(令和4年度予算額 1,350千円)

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の維持向上のため、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減する観点から、医療用ウィッグ・乳房補整具購入費の助成を行うものです。

助成金の額 医療用ウィッグ：2万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

乳房補整具：1万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

※令和2年度より乳房補整具購入助成事業実施

	元年度	2年度	3年度
医療用ウィッグ（件）	66	54	52
乳房補整具（件）	－	3	1

(10) 障害者に対する施策

① 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に健診日を設定し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

・検査項目：健康診査（39歳以下は眼底検査を除く）

がん検診（肺がん・大腸がん・乳がん）

※がん検診については、「がん検診受診率向上事業」に掲載

受診者（人）	元年度			2年度			3年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
39歳以下 （さわやか健診）	95	68	163	93	70	163	93	69	162	
40歳以上	生活保護 受給者等	31	18	49	30	21	51	31	22	53
	国民健康 保険加入者	92	73	165	92	74	166	91	66	157
	後期高齢者医 療保険加入者	12	13	25	15	16	31	18	19	37
	*他の医療 保険加入者	15	15	30	10	13	23	13	16	29
合計	245	187	432	240	194	434	246	192	438	

※健康診査費については、各事業費より支出（*は除く）

(11) 中学生胃がん予防事業

(令和4年度予算額 2,019千円)

胃がん発生の95%以上原因とされるヘリコバクターピロリ（ピロリ菌）感染者を早期に発見し、胃の萎縮が進む前の感染後間もない中学生の時期に除菌治療を行うことで子ども達の将来の胃がん発生を予防し、胃がんの撲滅を目指します。

一次検査：学校定期健康診断の検査尿を活用したピロリ抗体検査

二次検査：一次検査陽性者の医療機関受診による尿素呼気試験

除菌治療：二次検査陽性者の内薬治療

成功確認検査：尿素呼気試験による除菌治療の成功、不成功の確認

対象者：中学2年生

	元年度	2年度	3年度
対象者（人）A	1,062	1,113	1,042
同意者（人）B	900	939	938
同意率（%）C=B/A	84.7	84.4	90.0
一次検査受診者（人）D	899	938	936
一次検査陽性者（人）E	62	43	60
一次検査陽性率（%）F=E/D	6.9	4.6	6.4
二次検査受診者（人）G	59	41	48
二次検査陽性者（人）H	40	24	25
二次検査陽性率（%）I=H/G	67.8	58.5	52.1
一次検査受診者に対する陽性率（%）（真の陽性率）J=H/D	4.4	2.6	2.7
除菌治療実施者（人）K	40	24	25
成功確認検査完了者（人）L	39	24	21
除菌成功者（人）M	38	23	20
除菌成功率（%）N=M/L	97.4	95.8	95.2

※令和4年5月末現在